

よいや～の風にのって



——令和7年7月18日(金) No.9——校長 東原 宏章——

「皆さんのことを誇りに思っています。」(終業式 校長講話より)

Ⅰ学期の初めに、何でもいいから、まずは一つチャレンジしてみよう、頑張ってみようという話をしました。あなたはこのⅠ学期を、チャレンジした3か月間だったと振り返ることができますか。

低学年のある人は、Ⅰ学期の初めごろ、毎日泣きながら登校していました。ところが、5月になると泣かなくなりました。唇をぐっと、真一文字に結んで泣くのを我慢していました。6月にはお友達と笑顔で話しながら歩く姿が増えました。今では、登校中はもちろん、教室でも、お友達と一緒に笑顔で過ごすことができるようになりました。このように・2年生の皆が仲良く過ごせたのは、4つの学級の皆さんが担任の先生と力を合わせ、楽しい学級を作ってきたからです。よくチャレンジした、頑張ったⅠ学期でしたね。

3・4年の皆さんは、「今自分たちは何をすべきなのか」「どうしたらもっと楽しくなるのか」を自分たちで考え、行動してきました。担任の先生がいないときにも、自分たちで話し合っ、静かに楽しく過ごすことができていました。

また、3・4年の皆さんは、よりよい学級にしようと友達や担任の先生と話し合い、授業中の集中力を高めるためのルール作りを行ったり、ちくちく言葉より、ふわふわ言葉を増やしたりすることに力を注いできました。4つの学級も良い方へ向かっています。一人一人の心の成長を感じています。よくチャレンジした、頑張ったⅠ学期でした。

最後は高学年の皆さんです。少し地味な話になりますが、トイレのスリッパの話をします。3階のトイレのスリッパは、いつもきれいに並べられていました。この3か月間、ほぼ毎日です。3階のどこのトイレも。簡単そうでなかなかできるものではありません。

スリッパがいつも並べられているということは、高学年の皆さんの心がそろっている証です。高学年の皆さん一人一人が、次にスリッパを使う人のことを思って行動した、思いやりの積み重ねの現れといってよいでしょう。

高城台小学校の新たな伝統となるように2学期以降もぜひ、続けてほしいと願っています。

最後に、高城台小学校の407名の皆さん、よくチャレンジした、頑張ったⅠ学期でしたね。私は皆さんのことを誇りに思っています。